

折に触れ 四字熟語

NO. 158 【苦髮楽爪】 くがみ らくづめ

< 意味 > 苦勞の多いときは髪が毛が伸びやすく、楽をしているときは爪が伸びやすいこと。
「苦爪楽髮（くづめらくがみ）」ともいう。苦楽ともに、忙しいときは余裕がなくて、どちらも伸び放題になってしまうという意味。

用 例： 苦髮楽爪とやら、先の日に勝重が見に来たときよりも師匠が髭の延び、髪は鶉のようになって<島崎藤村・夜明け前>

一 言： いわゆる重箱読みじゅうばこの熟語です。「クハツ カクソウ」ではなく「クがみ ラクづめ」と音読みの後に訓読みしています。訓読みの後に音読みするのが、湯桶読みゆとうです。

参照文献： 岩波書店「四字熟語辞典」